



# 間空 がもたらす ゆとり

-小町通りにおける路地の再発掘-

舞台は鎌倉・小町通り。大きな建物が立ち並び、多くの観光客で賑わう。そして、その建物と建物の間から覗く空。その空は、建物や電信柱の影を映し、その土地の個性を引き出す。私は、それを「間空」と名付けた。

「間空」は、観光地の喧騒とは違い、静けさが漂う路地にみられる。路地に入って、少し息を吐いて上を見上げる。すると、青々とした「間空」がのぞき、現在を生きる建物の中にも、昔と何ら変わらない空の存在を感じる。そんな安心感を「ゆとり」と表現し、新しい「和」として提案する。